



学校だより 穂波 平

令和8年度 第1号
富士宮市立富士宮第四中学校
静岡県富士宮市穂波町13-1
TEL26-2944/FAX22-1498

校訓
考える

学校教育目標 「志をもち、主体的に行動する生徒」

- 自ら学び、共に深め合う授業
- 自他の良さを認め、共に高め合う集団
- 自ら鍛え、共に磨き合う心と体
- 地域と共に生きる姿勢

4月8日、富士宮市立富士宮第四中学校において、令和8年度第80回入学式が挙行され、162名の新生が新たに本校の仲間として加わりました。新生一人一人が中学校生活への期待と決意を新たにす、厳かで温かな式となりました。

大切にしてほしい二つのこと

第80回入学式 校長式辞より(一部抜粋) 校長 佐藤 真充

大切にしてほしいことを二つ、お話をさせていただきます。

一つ目は、「目標に向かって、自ら進んで挑戦してほしい」ということです。

本校の学校教育目標は、「志をもち、主体的に行動する生徒」です。「主体的」とは「自分の意思や判断で行動する」ということです。世の中が大きく変化し、状況や見方によっては答えがいくつも存在するような予測困難な時代と言われますが、学習や行事、部活動など、何事にも自分自身の夢や目標をもち、失敗を恐れず挑戦を続けていってください。時には、うまくいかず、くじけそうになることもあるかもしれませんが、そうした試行錯誤の経験は、成功に近づくための大切な学びへとつながっていきます。

これからの三年間、「自ら進んで行動する主体性」と「学び続ける姿勢」を大切にしながら努力を一步ずつ積み重ね、自らの人生を力強く切り拓いていけることを願っています。

二つ目は、「互いのよさや違いを認め合い、共に高め合ってほしい」ということです。「志」という字には、心に決めたこと、夢や目標などの他に、「相手を思いやる気持ち」という意味も込められています。価値観が多様化する中、お互いに異なる考えを尊重し合い、歩み寄ろうとする寛容な姿勢も大切にしながら、共に高まってほしいと思います。日々多くの人々と関わり合う中で、自分のことを大切にすると同時に、相手の気持ちも考え、思いやりのある行動がとれる人になってください。

皆さんが、この三年間で学び、鍛え、育む確かな知識や技能、逞しい心身、そして、豊かな感性は、今後の人生の宝、財産となっていきます。ぜひ、多くの学びと感動が詰まった、自分磨きの三年間にしていきたいでしょう。



新生代表宣誓 (一部抜粋) 1年 佐野 智哉 さん

これから始まる中学校生活では、新しい出会い、新たな学校行事など多くのことに挑戦していくことになります。その中で多くの悩みに立ち止まると思います。そんなときは、諸先生方や先輩方から助言をいただき、新たな仲間と共に支え合いながら歩んでいきたいと思っています。最初で最後の中学校生活を悔いすることのないよう、責任を持って過ごしていこうと思っています。

富士宮第四中学校の生徒としての責任と自覚をもち、実りある中学校生活になるよう、最大限努力することを誓います。



在校生代表歓迎の言葉（一部抜粋） 生徒会長 大島 妃代 さん

私たちは、日々の授業や生活の中で、仲間との学び合いを大切に、自ら進んで行動しています。小学校の児童会と同じように、中学校には生徒会があります。今年度は、スローガン「輝進」「輝いて進む」のもと、毎日の活動はもちろん、四中で一番大きな行事である四魂祭を生徒主体で創り上げていきます。文化の部での合唱、体育の部での学年種目や全員リレーの練習や本番を通して、クラスの絆をより深めていきます。さらに、四中には、私たちが先輩から引き継いだ「3つの大きな文化」「三大文化」があります。それは、「あいさつ」「歌声」「清掃」の3つです。これらの伝統をより良いものにしていくために、毎日意識しながら生活しています。



中学校は、小学校に比べて、行事や学習などを通して、たくさんの仲間と大きく「輝進」「輝いて進める」場所です。苦しいことや大変だと感じることもあると思います。でも、皆さんには、優しい先生方、先輩、友達がついています。

仲間と支え合い、積極的に行動していけば、中学校生活はきっと明るいものになるはずです。誇れるような温かい四中を私たちと一緒に創っていきましょう。皆さんと過ごすこれからの学校生活をととても楽しみにしています。

生徒会入会式

4月9日、前日に入学式を終えたばかりの1年生を迎え、生徒会入会式が行われました。生徒会本部役員を中心に、応援団による迫力ある演舞や学校紹介、部活動紹介などが行われ、全校生徒で新入生の入会を温かく歓迎しました。

式では、生徒会を代表して3年生の滝 丈一郎さんから歓迎の言葉が贈られました。



滝さんはまず、中学校生活では学習や部活動など新たな挑戦の中で、壁にぶつかることもあるかもしれないことに触れ、「そのようなときに支えとなるのが仲間の存在です。仲間とともに過ごす時間を大切に、一日一日を充実させてほしい」と語りました。また、「今日から皆さんも四中生徒会の一員です。委員会活動などを通して、自分たちの手で学校をより良くしていきましょう」と呼びかけ、自身の経験を交えながら、新入生が安心して一歩を踏み出せるよう温かな言葉を送りました。

これに対し、1年生代表の佐藤颯季さんからは、新入生を代表して決意の言葉が述べられました。



「先輩方が築いてきた学校を、私たちも一緒になって創り上げていきたい。四中の三大文化である『あいさつ』『歌声』『清掃』を大切に、委員会活動にも責任をもって取り組み、将来上級生になったときには、先輩方が大切にしてきたものをしっかりと引き継いでいきたい」と、力強く抱負を述べました。

新入生を迎え、四中生徒会は新たな一歩を踏み出しました。生徒一人一人が仲間とともに学校生活を充実させ、より良い四中を築いていくことを期待しています。